

国際会議 “International Conference on Econometrics and the World Economy”について

経済学部准教授 栗田高光

1. 概要

平成 21 年 3 月 23 日及び 24 日、福岡大学にて国際会議 “International Conference on Econometrics and the World Economy”を開催しました。本会議は、経済学部設立 50 周年及び「福岡大学先端経済研究センター」の設立を記念するとともに、計量経済学及び世界経済分析に関する国際的な研究交流を推進することを目的として開催されました。数多くの研究者や学生の皆様にご参加いただき、二日間に及ぶ会議は大盛況のなか幕を閉じました。



2. 本会議の構成

本会議は、招待講演と一般報告の二部構成となっており、招待講演者として世界的に著名な以下の研究者の方々を招へい致しました。

Dr Shaohua Chen

(Senior Statistician, Senior Information Officer, World Bank)

Dr Jurgen A. Doornik

(ESRC Funded Research Fellow in Economics, University of Oxford)

Prof. David F. Hendry

(Professor of Economics, University of Oxford)

Prof. Charles Y. Horioka

(Professor of Economics, Osaka University)

Prof. Shi Li

(Professor of Economics, Director of Income and Inequality and Poverty Research Centre, Beijing Normal University)

このうち、特に Prof. Hendry の講演は、「研究推進部特別講演会」と位置づけられ、研究推

進部より様々なご支援をいただきました。

一般報告に関しては、本会議の開催に先立ち報告論文を内外に広く公募したところ、研究水準の高い論文が多数寄せられました。日本国内は言うに及ばず、中国や欧州など海外からも数多くの論文の応募がありました。最終的には一般報告論文の数は 21 に達し、会議当日は欠席者もなく、予定したスケジュール通りに論文の報告が行なわれました。



3. 「計量経済学」及び「世界経済分析」

本会議全体の主題は、会議の名称が示す様に「計量経済学」及び「世界経済分析」の二つでした。両者は深く関係しておりますので厳密に分類するのは困難ですが、傾向として、会議一日目は「計量経済学」が主題、会議二日目は「世界経済分析」が主題となっていました。

会議一日目は、計量経済学の理論及び応用に関する論文が数多く報告されました。この日の招待講演者は Prof. Hendry と Dr Doornik であり、両者ともに計量経済分析における「モデル選択」に関する最新の研究成果を報告しました。招待講演者の報告論文タイトルは次の通りです。

“Model selection when there are multiple breaks” (Prof. Hendry)

“Econometric model selection with more variables than observations” (Dr Doornik)

このほか一般報告では、推定や検定のための諸理論、様々なモンテカルロ実験、高頻度データを用いた応用分析など、注目すべき研究成果が数多く報告されました。

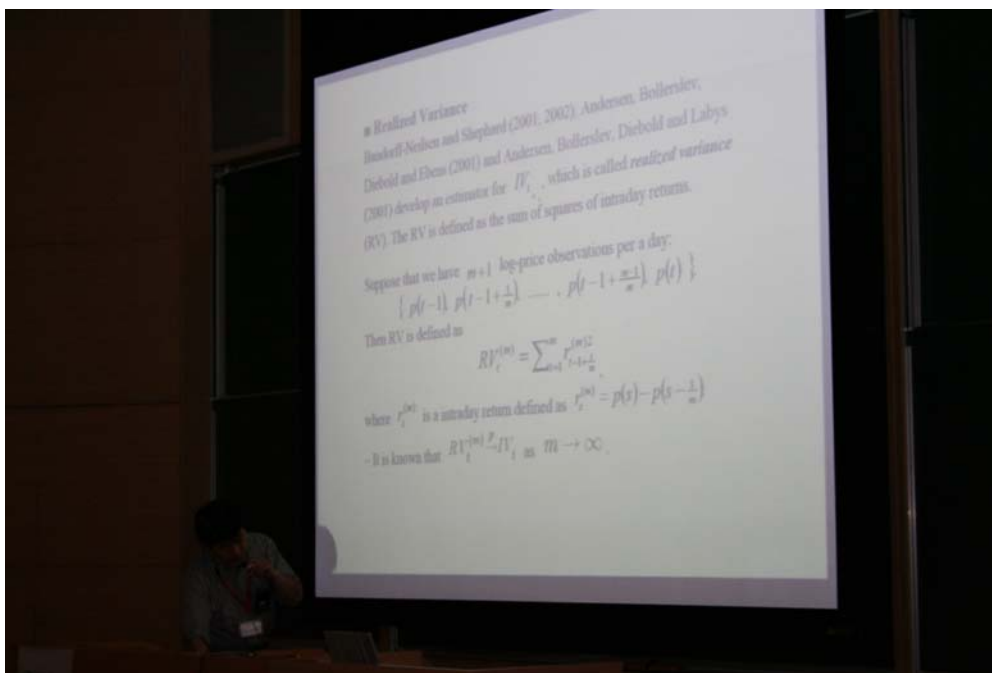
会議二日目は、世界経済の動向に関する様々な研究の成果が報告されました。この日の招待講演者は、Prof. Horioka、Prof. Li 及び Dr Chen の 3 名でした。遺産の動機等に関するアメリカ・日本・中国の比較分析、中国の経済成長や所得の不平等、途上国における貧困問題等について最新の研究成果が報告されました。招待講演者の報告論文タイトルは次の通りです。

“Bequest motives and parent-child relations in the U.S., Japan, and China” (Prof. Horioka)

“Economic growth and income inequality in China in the last three decades” (Prof. Li)

“The developing world is poorer than we thought, but no less successful in the fight against poverty” (Dr Chen)

一般報告においても、中国や他のアジアの国々、アメリカ等のデータを用いた分析など、最近の世界経済動向に関する興味深い研究成果が数多く報告されました。



4. レセプション

会議一日目の晩にはレセプションが開催されました。衛藤学長よりご挨拶をいただいた後、歓談をしながら、和洋中とバラエティーに富む夕食を賞味しました。会議参加者のほぼ全員が集まり、盛大なレセプションとなりました。



5. 謝辞

本会議を無事開催できたことは、経済学部の皆様全員の御支援のお陰です。特に齋藤経済学部長及び藤本先端経済研究センター長には、様々な形で御支援をいただきました。厚く御礼を申し上げます。本会議開催にあたり、先端経済研究センター内に「計量経済学・世界経済分析ユニット」を設置し、必要な諸準備を進めてきました。ユニットに御参加い

ただいた経済学部の高瀬先生、万先生、鍵原先生、玉田先生、並びに共同研究室の津々見さんの皆様に対し、心より感謝申し上げます。この5名の皆様の献身的ともいえる御支援がなければ、この会議の開催は不可能でした。また会議当日には、経済学部の中村先生、岩見さんをはじめとした都市空間情報行動研究所の皆様、学生アルバイトの皆様にも会場設定や受付などで御協力をいただき、深く感謝申し上げます。最後に、本会議開催のため、研究推進部の皆様にも多方面に及ぶ御支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。